

## 東京大学 生命科学ネットワーク 優秀ポスター賞受賞者インタビュー Vol. 2

平成 30 年度生命科学シンポジウムで優秀ポスター賞を受賞された方の中で特に優秀な成績を納めた方を対象に、研究内容やポスター発表の際に工夫したこと等について伺いました。

インタビュー日時 2018 年 7 月 11 日  
記事発行日 2018 年 7 月 27 日

### 発表タイトル

「Analysis of the role of PI4P in prospore membrane extension during sporulation of budding yeast」



農学生命科学研究科  
特別研究員  
中村 毅さん

### 経歴

長野県出身

2013 年 3 月 東京大学 農学部 生命化学・工学専修 卒業

2018 年 3 月 東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 修了 博士（農学）取得

2018 年 4 月～現在 東京大学大学院 農学生命科学研究科 特別研究員（学振 PD）

研究分野：微生物学・細胞生物学

抱負：生き物の形作りの仕組みを明らかにしたい

中村さん：N、新富（聞き手）：S

**生き物の形がどうやって形作られているのかを知りたい。**

S) 研究内容を教えていただいてもよろしいでしょうか？

N) 4 年生の頃から生き物の形がどうやって形作られているのか、ということをやっています。

S) それは発生学的な観点からでしょうか？

N) やっていることは細胞生物学です。一細胞がどういう形をしているとか、細胞の中のオルガネラがどういいう形をしているか、また、そういった一定の形態をとるに至るまでの過程や、どのような制御機構があるのかということを知りたいと思っています。

S) モデル生物は何を使っているのでしょうか？

N) 出芽酵母を使っています。酵母は飢餓になると胞子を作ります。胞子を作る過程で減数分裂した核を包み込む胞子の細胞膜（前胞子膜）の形成メカニズムの研究をしています。

## 結論を上に掲載。見やすさを意識。

S) 今回の発表において、工夫した点を教えてください。

N) パート毎に色分けをして見やすさ・統一感を意識してポスターを製作しました。また、結論をあえて上に掲載して、立ったままでも結論が見えるような工夫をしました。

S) 確かに、結論は皆さん下に掲載しがちですが、それだと見辛い場合がありますね。また、ポスターを流し見する人はアブストラクトと結論しか見ない場合も多いと思うので、結論を上に掲載するというのは良いアイデアですね。

## 相手にあわせた発表を心がける。

N) 発表の際には、オーディエンスにあわせた発表を心がけています。今回の生命科学シンポジウムは比較的広い分野の人がくるので、自分の研究分野にあまり馴染みのない人にもわかるように簡潔な発表を心がけました。また、審査員の先生方がいらっしゃった際には、何学部か聞いて、バックグラウンドを把握するのを心がけました。また、説明をしている間も、相手のリアクションにあわせて説明の仕方を変えていきました。

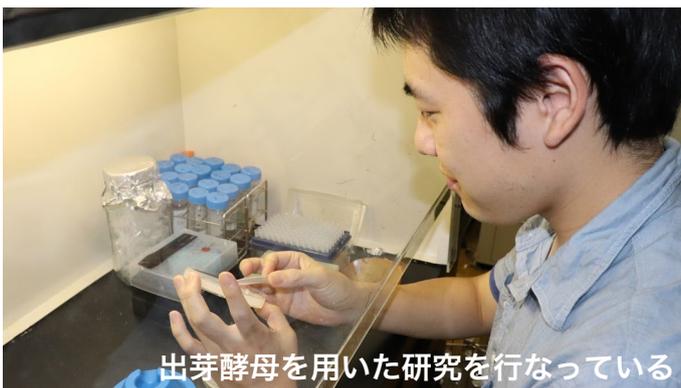
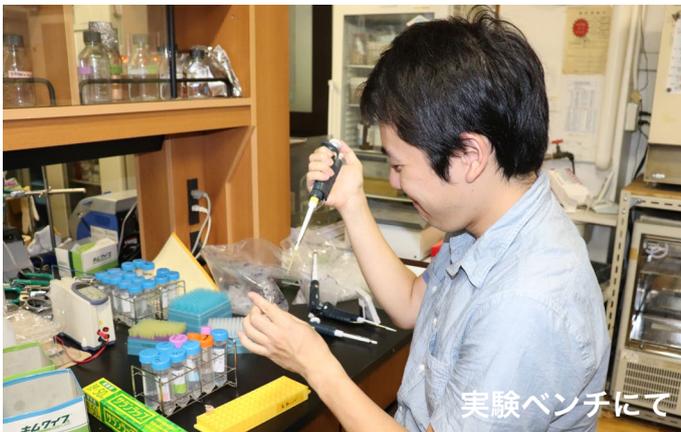
S) なるほど、今回シンポジウムでポスター賞を受賞した他の方も同じように、発表前に相手のバックグラウンドを聞いている、ということをおっしゃっていました。相手のバックグラウンドを把握した上で説明する、というのは重要ですね。

## 参加者の呼び込みが課題。

S) 今回のシンポジウムで発表して良かった点や改善して欲しい点があれば教えてください。

N) 様々な方がいらっしゃっていたので、異分野の方と交流できたのが良かったです。ただ、あんまり深い議論ができなかった、というのが正直な感想です。

S) そうですね。異分野の方との交流と、同じ分野の方との深い議論を同時に達成するためには、もっと多くの方に参加していただく必要があると感じています。ポスター発表をする人以外の参加をもっと呼びかけていかなくはなりませんね。



## わかりやすさを意識。

S) これから発表する方へのアドバイスがあれば。

N) ポスターの製作および発表において、わかりやすさを意識することが重要だと思います。このシンポジウムにおいては全然関係のない分野の人に話すくらいの方がよいと思います。そういった場合には、パッと見てわかるようなモデル図を掲載しておくのがポイントかと思います。

## 楽しく研究やれたらいいかな。

S) それでは、最後に将来の目標を教えてくださいませんか。

N) 楽しく研究やれたらいいかな、と思っています。

S) いいですねその言葉。

N) 楽しくなくなったら嫌なので・・・

S) 研究は楽しいからこそできるというか、楽しくないとできないですね。

N) はい、それは常に意識していきたいと思っています。

お忙しい中ご協力ありがとうございました。



授賞式にて村上ネットワーク長と



聞き手  
生命科学ネットワーク  
特任助教 新富 美雪  
研究分野：細胞生物学

この記事についてのご意見・お問い合わせ先  
info@lsn.u-tokyo.ac.jp  
東京大学 生命科学ネットワーク  
駒場1キャンパス 17号館1階